

牧の12か年教育 目指す子ども像：ふるさと牧を愛し、夢と志をもち、未来をたくましく切り拓く子ども

— 家庭で育ち 学校で学び 社会へ羽ばたく —

家庭

【中学校段階】

《生活習慣+学習習慣・自律》

- ・毎日の朝食をとる。
- ・部活、家庭学習、睡眠の自己管理ができる。
- ・ゲームやネットの管理が自分でできる。

《家庭の一員として》

- ・やってはいけないことの判断ができる。
- ・家庭での役割を与え、責任をもつ。

【小学校段階】

《生活習慣+学習習慣・自立》

- ・睡眠時間を確保する。
- ・スポーツ等に親しむ。
- ・持ち物を確認する。
- ・学習時間を確保する。
(10分×学年)

《家庭の一員として》

- ・家庭での役割を継続する。
- ・家庭であいさつをする。

【保育園段階】

《小学校への準備》

- ・毎日決まった時間に起きる。
- ・テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を約束する。

《基本的生活習慣 3～5歳》

- ・「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣を身に付ける。
- ・好き嫌いをしないでバランスよく食べる。
- ・衣服の着脱や食事、排泄などができる。

《しつけ3原則》

- ・よいことはほめ、いけないことは注意する。
- ・元気よく返事や挨拶をする。
- ・自分の物やみんなで使う物は大切に

ノーテレビ、ノーゲームデーをつくり、団欒や読書をしましょう

食事と言葉と我慢・「我が家の約束」

《今、育てたい子どもの姿》

意欲・志

将来の夢を実現させるため
自分のよさを伸ばす。

- ① 仲間と協働して考えを深めることができる。
- ② 自分のよさや個性が分かり、自分の生き方を考えることができる。
- ③ 自分の生活習慣を律することができる。

【牧の自慢ができる】

【ともに生きる】

【自分の良さを知って伸ばす】

【役割を果たしてゆく】

【働くことの意義を考える】

《子どもを育てる教師・保育士の姿》

中学校

- 生き方講話、職場体験を通して、社会性を育む。
- 成長が実感できる場づくりを行う。

- ① 授業や活動の場面で、自分の考えをもち、仲間と考えを深める場を設定する。
- ② 自治活動、小中合同の活動、地域貢献活動の在り方を考えさせ、主体的に取り組ませる。
- ③ 自分自身の体力、生活習慣の課題を把握させる機会をもち、改善に向け取り組ませる。

自信・希望

夢やあこがれをもち、
最後までやり通す。

- ① 自分の考えをもち、伝え合う活動を通して考えを深めることができる。
- ② 自分の長所や短所に気付き、自分らしさを発揮することができる。
- ③ 健康の大切さに気付き継続して実践することができる。

【大好き牧】

【あいさつや返事をする】

【自分のことは自分で行う】

【やり抜いて進む】

【将来への夢をもつ】

小学校

- 牧の人・自然・歴史・文化・できごととの関わりを通して、社会性を育む。
- 夢を育む場づくりを行う。

- ① 自分の考えを書く、伝え合う場面を工夫する。
- ② 振り返り活動を充実させ、相手を受け入れ認め合う場を設定する。
- ③ 子どもの生活実態を把握し、自分の生活の課題を振り返る活動を充実させる。

喜び・夢

好きなことに夢中にな

- ① 人の話を聞き、思いを自分の言葉で話すことができる。
- ② 友達と仲良く遊ぶことができる。
- ③ 簡単な身の回りのことができる。

【牧への愛着】

【人間関係形成・社会形成能力】

【自己理解・自己管理能力】

【課題対応能力】

【キャリアプランニング能力】

保育園

- ① 一定時間、座って、人の話を最後まで聴けるように、ゆっくりと簡潔に、分かりやすい言葉で話す。また、自分の思いが言えない時は、言葉を補い、表現の仕方を手助けする。
- ② 友達によさに気づき、簡単な約束や決まりが守れるようにする。
- ③ 自分からしようとする姿を認め、達成感を味わわせながら、意欲や態度につなげていく。

地域

たくましく育てる

社会性と自立の基盤

【牧中学校学校運営協議会】

【牧小学校学校運営協議会】

【牧っこを育てる会】

【牧振興会】

【PTA・同窓会・後援会】

見守りと応援・支援

子育てをしながら親も学ぶ